

計測分科会誌 Vol.2, No.1, 1994

○巻頭言

「X線CTと医療被曝」

山 哲夫

○第3回計測分科会

日時：平成6年4月6日（水） 12:30~15:30

場所：ホテルゴーフリッツ 第8会場（バルセロナ）

・特別講演

「私の歩んだ放射線計測学」

司会：名古屋大学医療技術短期大学部

前越 久

放射線医学総合研究所

川島 勝弘

・討論会 テーマ：「X線CTの被曝は如何に測定すべきか」

座長：福井医科大学附属病院

小室 裕冉

1. 画質と被曝線量に関連して

埼玉県小児医療センター

松田 幸広

2. 被曝線量低減対策に関連して

九州大学医学部附属病院

馬場 仁

3. 撮影条件の最適化に関連して

名古屋大学医療技術短期大学部

小山 修司

4. CT検査における患者の実効線量評価

放射線医学総合研究所

西澤かな枝

5. 指定発言

・モンテカルロ計算による被曝線量の評価

広島おると会浜脇病院

丸石 博文

・螺旋状（ヘリカル）スキャンにおける被曝線量測定

国立がんセンター中央病院

松村 禎久

○トピックス

「PINフォトダイオードを使用して自作可能な高感度中性子個人モニタ」

名古屋大学医療技術短期大学部

青山 隆彦

○照射線量全国調査（案）

○文献紹介 計測に関する文献照会

○会員名簿（50音順）